



報道関係各位

平成29年2月21日

## 平成28年度 第2回いわて3Dプリンタ活用研究会開催のお知らせ

岩手県内における三次元造形技術を活用した高付加価値製品の開発等を促進するため、下記のとおり本年度第2回研究会を開催することとしましたのでお知らせします。

つきましては、当日の取材についてよろしくお願ひします。

### 記

- 1 開催日時  
平成29年2月23日(木) 14:00～ (開場・受付 13:30～)
- 2 開催場所  
ホテル東日本盛岡 3階 鳳凰の間
- 3 対 象  
研究会会員を中心とした、県内企業・団体等
- 4 参加者  
70名程度参加予定
- 5 開催内容  
添付のプログラムを参照願ひます。

#### [参考] いわて3Dプリンタ活用研究会

岩手県立大学が岩手県から受託している「3Dプリンタ次世代ものづくり人材育成業務」により、企業、大学等の教育機関および公設試験研究機関等と連携し、三次元造形技術に係る専門知識や先進的な取組について情報共有を図るとともに、三次元造形技術に関する人材育成に取り組み、県内における当該技術を活用した高付加価値製品の開発等を目指して、平成26年に設立。

- (1) 会員団体数 84団体
- (2) 役員 代表： 岩手県立大学 いわてものづくり・ソフトウェア融合テクノロジーセンター センター長  
(ソフトウェア情報学部 教授) 村田嘉利  
副代表： 岩手県立大学 ソフトウェア情報学部 教授 土井章男  
(株)東光舎 代表取締役社長 井上研司
- (3) 活動内容： 三次元造形技術に関する研究会や人材育成研修会の開催  
会員企業の共同による三次元造形技術を活用した取組の創出

【問合せ先】 <事務局> 岩手県立大学研究・地域連携室 TEL 019-694-3330 土井尻、槻ノ木沢

## 平成 28 年度 第 2 回 いわて 3D プリンタ活用研究会

平成 29 年 2 月 23 日 (木) 14 : 00 ~

ホテル東日本盛岡 3 階 鳳凰の間

### 開催内容

#### 1. 代表挨拶

#### 2. 研究会プロジェクト活動報告・表彰式 14 : 05 ~ 14 : 35

- ・研究会プロジェクト活動の報告
- ・岩手県立産業技術短期大学校 学生コンテスト表彰式

#### 3. 講演 三次元造形技術の活用に関する事例等の紹介

##### ◆講演① 14 : 40 ~ 15 : 45

OCASILA 株式会社 代表取締役 / NPO 法人全日本製造業コマ大戦協会 理事長

株式会社ミナロ 代表取締役 緑川 賢司 氏

「リストラされても世界は掴める！

from vision to reality ~ビジョンを掲げろ現実となる~」

株式会社ミナロの起業から、2016 年 3 月には「価値ある日本製を世界に通ずるハイブランドにする」をビジョンに 新会社 Ocasila Inc. の立ち上げ、さらには「NPO 法人 全日本製造業コマ大戦協会」の理事長を兼任。

本講演では、本研究会で昨年度講演いただいた(有)スワニー様、中辻金型工業(株)様、(株)キャスト様とともに 3D プリンタ技術を絡めて行っている『JMRP~全日本製造業活性化計画』等の中小製造業を元気にする取組みなどを講演いただきます。

##### ◆講演② 16 : 00 ~ 17 : 05

株式会社 カブク MMS 事業推進担当 渡邊 兼人 氏

「少量多品種生産を実現する中小工場ネットワークの必要性とその実現について」

単一品を大量生産し安価に提供するだけでは消費者の支持を得難い時代となりました。メーカーは消費者ニーズを突き詰めると、膨大な数のアイテムを開発、生産しなければならない壁にぶつかります。特に少量多品種生産は、既存の生産ラインの再編だけでは対応が難しいことがあります。

本講演では、中小の専門工場を複数取り纏め、3D プリンタ等を用いて少量多品種生産を可能とした製造サービス MMS Connect や、3D プリンタによる最終製品の製造等を事例とともにお話いただきます。

#### 4. 展示等

研究会プロジェクト活動表彰者の成果品と会員企業による 3D プリンター関連の展示も予定しております。

(株式会社アピール)

## いわて3Dプリンタ活用研究会プロジェクト活動について

### 1.目的

三年間の本研究会の活動における集大成として、平成28年度において研究会内でのものづくりネットワークの構築と将来的な製品の創出を目標とした試作品を製作するプロジェクト活動を行うもの。

### 2.参加団体

参加団体数 14 (企業・団体9、教育・試験・研究団体4、自治体1)  
(株)東光舎、盛岡情報ビジネス専門学校、いわてデジタルエンジニア育成センター、  
(株)ミズサワコンダクタ、北上精工(株)、(株)恵PCM、(株)アピール、松森木工所、  
パンチ工業(株)、岩手製鉄(株)、岩手県立産業技術短期大学校、(株)小林精機、岩手県立大学、  
岩手県ものづくり自動車産業振興室 ※順不同

### 3.活動の経過

- (1) 参加企業の募集 (6/17-6/30)
- (2) 第1回ワークショップ (7/26)  
各社保有技術・機械の情報共有、製作物のデザイン・設計方法についてのディスカッション
- (3) 岩手県立産業技術短期大学校によるデータコンテスト (8/1-10/3)  
学生6チームによる3Dデータの作成
- (4) コンテスト投票 (10/4-10/7)  
プロジェクト参加団体による3Dデータのメール審査
- (5) データブラッシュアップ検討会 (10/13)  
上位3チームのデータについて、実際に製作する上での学生へのアドバイス等
- (6) ブラッシュアップデータの提出 (11/4)  
アドバイスを落とし込んだデータ改善
- (7) 詳細設計・図面作成・企業へのデータ振り分け  
事務局にて対応
- (8) 企業による製作 (11月中旬～1月中旬)
- (9) 第2回ワークショップ (1/26)  
成果品のお披露目、3Dプリンタで製品を作るために必要なことについて今回の活動の振り返りも含めたグループディスカッション、外部講師の講演による参加企業・団体の勉強会

### 4. 成果品



マガジンラック



わんこきょうだい  
調味料入れ



500ヤード飛ぶ!  
ゴルフクラブ  
(ヘッド部)